

# 「Pirfenidone 投与が非小細胞癌に及ぼす 組織学的影響についての解析研究」

## 研究の目的

ピレスパは、抗線維化薬として発売されたお薬で、現時点では適応は肺線維症のみとされています。しかし、最近の研究で、がん細胞やがん周囲の細胞に影響をあたえ、がん細胞の増殖を抑えるといった報告があります。そこでピレスパが肺線維症だけでなく、肺がんにも抗腫瘍効果をもつのではないかと期待して、現在大阪大学で肺がん細胞を用いた研究をすすめています。実際に、肺線維症に対してピレスパを内服されている患者さんで、肺がんが発生した場合、ピレスパが肺がんに対してなんらかの作用を及ぼしている可能性があります。そのため大阪大学の関連施設で、ピレスパを内服した後に肺がんの手術を受けられた患者さんの診療情報および摘出組織を集積して、ピレスパの影響を調べることを目的としています。この研究は大阪大学医学部附属病院の倫理審査委員会の審査を受け、病院長が許可した上で実施しています。

## 研究の実施方法

手術で得られた摘出組織の一部を頂いて、大阪大学にて特別な染色を行い、ピレスパによる組織内の変化を調べます。得られた医学的な診療情報は研究代表施設の大阪大学医学部附属病院にて収集します。また、患者さんの個人情報漏洩の危険を避けるため、収集する診療情報は患者登録番号や対応表に従った症例番号を用い、施設のカルテ番号は用いませので、患者さんの個人情報は各施設で保護されます。研究に使用するのは、患者さんの治療目的で摘出された肺がん組織の中で診断に不要な部分のみであり、研究のために余分に検体を採取したりすることはありません。研究期間は、大阪大学倫理審査承認後～2018年3月31日で、予定集積症例数は30例です。研究結果は、医学的見地から必要と判断された場合に、他の研究機関にお知らせする可能性があります。

## 研究の対象に該当する患者さんへ：

この研究への参加は、あなたの自由な意思で決めてください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。またこの研究への参加に同意した後いつでも同意を撤回することができ、不利益はありません。同意の撤回を希望される場合は、遠慮なく担当医師にお伝えください。

本研究に関して、ご質問がございましたら担当医または下記担当者宛にお問い合わせ下さい。

この研究に対する  
お問い合わせ先

〒565-0871 吹田市山田丘2-2 (L5)  
大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学  
新谷 康  
電話：06-6879-3152 Fax:06-6879-3164